

個人会員の皆さまへ

ご応募お待ちしております。招待券プレゼント！

応募フォームは協会ホームページの会員専用ページ内にあります。

応募期限は毎月20日、厳正に抽選して当選者を決定します。(初回申込者を優先いたします。)

① 特別展 小磯良平展 2組 | ——幻の名作《日本髪 of 娘》

韓国国立中央博物館から、90年ぶりに日本へ



小磯良平《日本髪 of 娘》1935年 韓国国立中央博物館蔵

本展は、韓国国立中央博物館の協力により、小磯良平の戦前の代表作のひとつ《日本髪 of 娘》が90年ぶりに日本で公開される貴重な機会である。本展では、この不朽の名作とあわせて、小磯記念美術館が所蔵する小磯作品を中心に紹介することで、小磯良平がたゆまず追い求めた日本人の油彩画の精髓を展覧する。

モダンなデザインの訪問着をまとい、日本髪 of 髪 (かつら) をつけた礼装の神戸の令嬢を描いた《日本髪 of 娘》。当時32歳であった小磯は、大阪の百貨店・高島屋が開催した着物の展示会「百選会」を訪れ、この着物と出会い、高価をいとわず自身で購入して制作にのぞんだ。一時期消息が判然とせず、幻の作品と考えられていた《日本髪 of 娘》を心ゆくまで鑑賞していただきたい。

期 間 2026年1月10日(土)～3月22日(日)
10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日、1/13(火)、2/24(火)
※1/12(月・祝)、2/23(月・祝)は開館

観 覧 料 一般1,200円、大学生600円
*高校生以下無料(証明書の提示が必要)
*神戸市在住の65歳以上の方600円(同上)
*障がい者手帳など提示の方無料

会 場 神戸市立小磯記念美術館
神戸市東灘区向洋町中5-7

TEL.078-857-5880



#小磯良平#李王家美術館#韓国国立中央博物館#和装婦人像

② 拡大するシュルレアリスム 視覚芸術から 2組 | 広告、ファッション、インテリアへ

日常を変える、世界を変える。



ルネ・マグリット《レディ・メイドの花束》
1957年 大阪中之島美術館

シュルレアリスムとは表現の様式をいうものではなく、「高次のリアリティと、夢の全能性」への信頼に基づいた、あらゆる創造行為をさすものであろう。

シュルレアリスムの発生から約100年を経た今、本展は日本国内に所蔵されている多様なジャンルの優品を一堂に会し、シュルレアリスムの本質に迫る。

本展のみどころ

- 1 芸術界にとどまらないシュルレアリスム！
- 2 シュルレアリスムの名品が大集結！
- 3 ファッションとシュルレアリスム エルザ・スカパレリ

期 間 12月13日(土)～2026年3月8日(日)
前期 12/13(土)～1/25(日) 後期 1/27(火)～3/8(日)
10:00～17:00 ※入場は開場の30分前まで

休 館 日 月曜日、12/30(火)～1/1(木・祝)、
1/13(火)、2/24(火)
※1/12(月・祝)、2/23(月・祝)は開館

観 覧 料 一般1,800円、高大生1,500円、小中生500円
*障がい者手帳(身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳)などをお持ちの方(介護者1名を含む)は当日料金の半額(要証明)
*一般以外の料金で使用する方は、証明できるものの提示が必要

会 場 大阪中之島美術館 4階展示室

大阪府大阪市北区中之島4-3-1
TEL.06-4301-7285
(大阪市総合コールセンター)



#シュルレアリスム#アンドレ・ブルトン#ルネ・マグリット

会員IDやパスワードがご不明な場合は、日本建築協会総務課
(soumu@aaj.or.jp) までお問合せください。
招待券は当協会より郵送でお届けいたします。
当選発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。

information

③ | ゴッホ展
5組 | 家族が見つない画家の夢

ファン・ゴッホ家のコレクションに焦点を当てた日本初の展覧会



フィンセント・ファン・ゴッホ《画家としての自画像》
1887年12月-1888年2月ファン・ゴッホ美術館、
アムステルダム (フィンセント・ファン・ゴッホ財団)
Van Gogh Museum, Amsterdam (Vincent van Gogh Foundation)

アムステルダムのファン・ゴッホ美術館には、画家フィンセント・ファン・ゴッホの約200点の油彩画や500点にのぼる素描をはじめ、手紙や関連作品、浮世絵版画などが所蔵されている。そのほとんどは1973年の開館時に、フィンセント・ファン・ゴッホ財団が永久貸与したものである。

本展では、ファン・ゴッホ美術館の作品を中心に、ファン・ゴッホの作品30点以上に加え、日本初公開となるファン・ゴッホの手紙4通なども展示し、家族が守り受け継いできたコレクションを紹介する。

期 間 2026年1月3日(土)～3月23日(月)
10:00～18:00 金曜日は20:00まで
※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 第1・第3月曜日

観 覧 料 一般2,000円、高校・大学生1,300円
*中学生以下無料
*身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(愛護手帳)、特定医療費受給者証(指定難病)のいずれか所持の方、通常料金の半額
*付き添いの方は、各種手帳(「第1種」もしくは「1級」)または特定医療費受給者証(指定難病)を所持の場合、1名まで通常料金の半額
*学生・生徒は学生証(生徒手帳)提示が必要。

会 場 愛知県美術館
名古屋市東区東桜1-13-2
愛知芸術文化センター10F
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)



#フィンセント・ファン・ゴッホ#ゴッホ

④ | CREVIA マチュピチュ展
5組 |

謎の天空都市、六本木の天空に舞い降りる。



本展は、2021年のアメリカ・ボカトン美術館を皮切りに、世界各地で開催され、高い評価を得ている。ペルー政府公認の本展は、アジアでは初開催となる。日本初上陸となる本展では、ペルーの首都・リマにあり、世界的にも有名な考古学博物館「ラルコ博物館」より貸与された、貴重な文化財約130点を展示する。

王族の墓から出土した黄金の装飾品や神殿儀式で用いられた祭具などは、初めてペルー国外に貸し出される展示品である。日本で初公開の貴重な資料を通じて、古代アンデス文明の叡智や芸術を間近に体感できる。

また、世界遺産マチュピチュを独自の技術で再現した没入型空間や、アンデス神話の英雄「アイ・アパエック」の冒険を軸に展開される壮大な物語とともに、来場者がかつてない知的冒険へといざなう。



「カニの姿をしたアイ・アパエック」紀元後100-800年
ラルコ博物館所蔵 ©MUSEO LARCO LIMA-PERU

期 間 2026年3月1日(日)まで 期間中無休
10:00～19:00 ※金・土・祝前日は20:00まで
※年末年始の2025/12/29(月)～2026/1/4(日)は
10:00～19:00
※入館は閉館の60分前まで

観 覧 料 一般2,800円、中高生1,900円、小学生1,300円
*未就学児無料
*障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方
1名までは入場券相当料金が半額

会 場 森アートセンターギャラリー
東京都港区六本木6-10-1
六本木ヒルズ森タワー52F
<https://machupicchuneon.jp/>



#マチュピチュ#アイ・アパエック#インカ帝国#アンデス文明